

令和4年度 地域の医療・介護職種による相互研修(交流)会 ご報告

日時: 令和4年8月26日(金) 14:00~15:30

会場: 河北総合センタービックバン

『自分の『生きる』を考える

～もしものための「人生会議」～』

【講師】

一般社団法人みんなの健康らぼ

医療法人社団やまとやまと在宅診療所一関

医師 杉山 賢明 氏

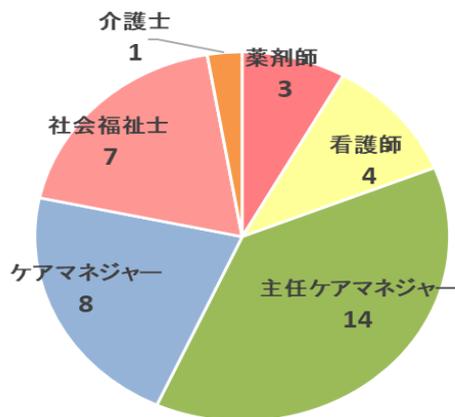
一般社団法人 日本産業活性化支援機構 副理事

魅力 ママ起業コンサルタント 北山 真理 氏

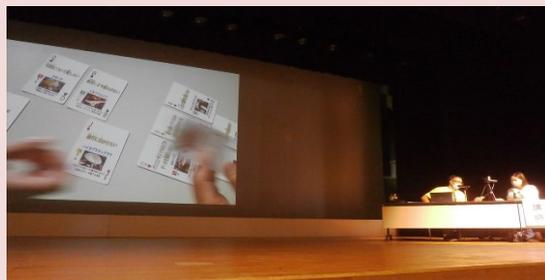
※コロナ禍もあり、グループワーク等は行いませんでした。

職種(人数)

計37名 ※アンケート回答者37名



<参加風景>



コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日、グループワークを中止しました。
その代わりに、講師が手元をスクリーンに映し、グループワークで実施予定であった“みんらボカード”の使い方を説明されました。



杉山 賢明 氏

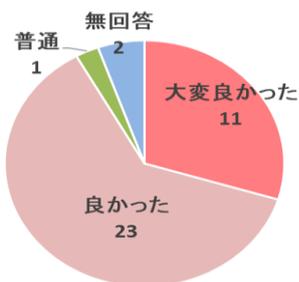


北山 真理 氏

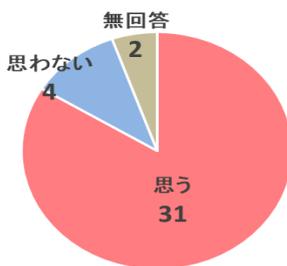


<アンケート結果(n=37)>

研修会に参加していかがでしたか(人数)



今後、交流をメインとした研修会が必要と思いますか(人数)



<感想>

- 患者様の看取りに立ち会ったことがなかったため、実際にどのようなことを大事にして話し合っていくのか具体的に知ることができ、大変勉強になりました。
- コロナ禍でグループワークはできませんでしたが、トーク形式で話が聞きやすかったです。
- 「人生会議とは?」と思っていたが、研修でよく理解できた。なかなか「話をして知る」のは難しいかと思う。普段の会話から、本人の思いや希望を知るといのが、支援業務と重なる所があるなと感じました。